

安心できる住まい

▼五十嵐町公営住宅建設事業
(24億400万円)
平成5年に留萌市地域住宅計画「H O P E (ホープ) 計画」に基づいて平成7年に五十嵐町団地の建設事業に着手しました。平成11年までの5カ年で高層10階建60戸、7階建30戸を建設します。
留萌市シルバーハウジングプロジェクト(お年寄が安心して住むことができる住宅)で60戸のうち20戸、30戸のうち10戸については高齢者専用住宅として団らん室、集会所を設け、交流の場をつくるなど快適な住環境をつくっていくことにしています。

わかりやすいまちにする

▼住居表示整備事業(1千万円)
町名の境界や建物をわかりやすくするために住居に番号を表示し、又案内板など設置し、建物を探しやすくします。平成6年度から始め、これまで五十嵐町、高砂町、末広町、花園町を実施しています。今年度は開運町の19ヘクタール、300世帯を実施しますので地域の方のご協力をお願いします。

緑豊かでうるおいのあるまちづくり

▼マサリベツ望洋の森オープン式
(60万円)
昨年度整備が終わり、今年度から開放されます。
▼公園整備事業(4千万円)
緑化に重点をおいた公園づくりを進め、留萌川河畔、神居公園、浜中運動公園、幌糠公民館、ルルモツベ憩いの森を全体緑地として高低木、花壇、ベンチ等を整備します。
▼緑化整備事業(1千400万円)
記念植樹、一家で一本、植樹をしていただきます。
▼船場公園整備事業(91万円)
平坦で広い船場地区の活用。港や商店街との近接性から、地域の産業や観光、交通のインフォメーション、スポーツ・レクリエーションなどの拠点として考えていきますが、今年度は船場公園、都市計画策定の調査をすすめます。
▼市有林整備事業(2千672万円)



あたらしいまち並み

▼潮静第2区画整備事業
潮静地区を住環境モデル地区として区画整備をするために、基本計画の策定に向けて測量調査をすすめます。

おいしい水を飲むために

▼第6期拡張事業(8億1千584万円)
普段使用している水は、増毛町新信砂川から引いていますが、施設の更新と増設を行うものです。

快適なくらしをすすめる

▼公共下水道整備事業(11億2千万円)
▼水洗便所改造等資金貸付事業(1千550万円)
▼水洗便所改造等補助金事業(366万円)
下水道の整備は平成7年度までに179ヘクタールの供用を始めました。約2千500戸、5千400人の市民が利用していることになりましたが、使用可能地域の戸数の59%程度の状況で、更に水洗化の普及をすすめていくため、補助金など利用していただきたいと思えます。



冬克雪

▼雪国活性化整備事業(3千万円)
(留萌通りロードヒーティング工事)
▼開運12号通り防雪事業(7千万円)
(ロードヒーティング工事)
積雪寒冷期間が長く、坂道が多い本市にとって、除排雪の効率化、融雪槽の効果と普及に関する調査、新たな除雪対策の工夫にも取り組んでいきます。

道があり、街がある

▼浜中海浜公園整備事業(1億5000万円)
国道231号線の沿道のサービスマ機能を充実するためポケットパーク、さわやかトイレなどづくり、景観も重視していきます。市民の憩いの場として、また観光ゾーンとして整備をはかります。
▼留萌大橋ライトアップ整備事業(490万円)
留萌港の活用と密接に関連のある高規格幹線道路の早期開通をめざし、国道231号線の拡幅事業に伴う街並整備などをすすめていきます。

市道

- ▼3・4・4東岸通街路整備事業(7千600万円)
- ▼千望台通り整備事業(4千500万円)
- ▼南9条通り地方特定道路整備事業(5千万円)
- ▼臨時地方道整備事業(1億600万円)
- ▼東雲通り道路改良事業(1億278万8千円)
- ▼マサリベツ川改修事業(7千900万円)
- ▼西5号通り整備事業(1億円)
- ▼西5号通り交通安全施設整備事業(3千万円)
- ▼土木車輛センター建設事業(1億4千525万円)

をめざした港づくりをすすめています。平成8年度から始まる10カ年長期計画に基づき施設整備をすすめることとします。

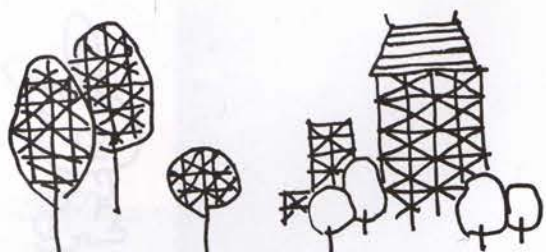
あらたな農業を考える

- ▼水田地域特産品づくり事業(663万円)
- ▼山村振興等農林漁業特別対策事業(1千870万8千円)
- ▼需要増進型稲作推進事業(309万円)
- ▼道営土地改良総合整備事業(1千100万円)
- ▼藤山地区道営農免農道整備事業(3千375万円)
- ▼ふるさと農道緊急整備事業(6千10万円)
- ▼日本海地域新産地育成事業(234万円)

産業

港・るもいを流通の拠点にする

- ▼引船整備事業(4億円)
 - ▼留萌港改修事業(北岸地区道路)(6千765万円)
 - ▼留萌港改修事業(直轄)(25億9千万円)
- 留萌港は旭川市を中心とする道北経済圏の流通拠点港としての役割を担い、フェリーや大型船就航



牛さんに会いたい!!

▼礼受地区公共牧場機能強化事業(6千943万7千円)
市民の憩いの場、「親しまれる牧場づくり」をめざした礼受牧場の実施計画を終え、平成8年度から3年計画で順次整備をすすめていきます。



おいしい留萌の味をつくる

▼留萌市水産加工業振興事業(885万8千円)
平成7年度を初年度とする水産加工業振興計画に基づいて、レトルト食品を中心とした新製品の開発や各種物産展などを利用した販路の拡大・企業の人材育成等を積極的に支援し経営基盤の強化を図っていきます。



これからの沿岸漁業

- ▼クロソイ中間育成放流事業(120万円)
- ▼ウニ種苗移植事業(300万円)
- ▼地先型増殖場造成事業(6千800万円)
管内南部圏として小平町にウニの種苗生産施設。管内として増毛町にさくらますのヌモルト化施設。日本海北部地域として、ヒラメの種苗生産施設などありますが、広域的な協力のもと、栽培漁業を積極的に推進し、漁業者の経営安定を図っていきます。
▼漁港整備事業(3億6千万円)(礼受、三泊)
沿岸漁業の基盤施設である漁港の第9次整備計画に基づき、礼受・三泊漁港の早期完成にむけ取り組んでいきます。

地元商店街の活気を

▼十字街地区再開事業(300万円)
商店街は消費者ニーズの多様化、情報化といった消費動向の変化への対応が必要であり、コンビニエーション型の大型商店が予定されているなど、商店街の活性化が課題です。
又、十字街再開発については市